

## 会議録

会 議 名	第 5 回八王子市再生可能エネルギー導入検討会	
日 時	平成 25 年 3 月 27 日（水） 午後 6 時 30 分～ 8 時 45 分	
場 所	八王子市役所 本庁舎 第 6 委員会室	
出席者氏名	委 員	本藤祐樹、白井信雄、中島裕輔、安藤広和、今井雅晴、遠藤尚孝、 栗田和仁、富永一夫、奥田さが子、三浦すみえ
	事務局 （説明者）	八王子市：渡辺環境部長、佐藤環境政策課長、平井環境政策課主査、 鈴木環境政策課主任 環境自治体会議：増原直樹、池谷智晶
欠席者氏名	なし	
議 題	(1) 複合プロジェクトのイメージについて (2) 検討報告書について (3) その他	
公開・非公開の別	公開	
非公開理由	—	
傍聴人の数	7 名	
配付資料名	次第 資料 1：「八王子市再生可能エネルギー導入検討報告書（案）」（平成 24 年度版）修正版 参考 1：市施設への太陽光発電装置設置について 参考 2：再生可能エネルギー関連 国の補助・支援の抜粋 参考 3：パッシブソーラー（長池公園）について 参考 4：多摩市循環型エネルギー協議会における屋根借り発電事業へ のとりくみ 参考 5：八王子市再生可能エネルギー導入庁内検討会（各部会）検討 記録 参考 6-1～5：委員の意見	
会議の内容	<p>◆開会にあたっての挨拶</p> <p><b>【本藤座長】</b> 第 5 回の検討会を始める。 （事務局より配布資料の確認および参考 1～5 ついて概要を説明）</p> <p><b>【本藤座長】</b> 現状報告を頂いた。参考資料に関して質問はあるか。</p> <p><b>【白井副座長】</b> 参考 3 に関連して。今後の予定で平成 25 年度に再生可能エネルギーの方針を策定するということだが、今回の検討会を受けて庁内検討会で策定するのか再度確認したい。それから、市内で再生可能エネルギーについて把握できていない施設もあるということだが、長池公園以外にもそのような施設はあるのか。</p> <p><b>【事務局（平井）】</b> 再生可能エネルギーについての方針は、この検討会で作された意見をもとに庁内で策定していくということを前回報告させて頂いた。長池公園については設置者が違ったため把握していなかったただけなので、これ以外に把握していないものはないと思</p>	

う。

**【白井副座長】** 民間のものも把握しているか。

**【事務局（平井）】** 民間のものは把握していない。

**【遠藤委員】** 参考 5 について。市長が所信表明で太陽光の推進、地産地消、森林整備を述べているが、市長の方針について市としてどう取り組んでいくかということは検討されていないのか。

**【事務局（佐藤）】** このワーキンググループでは現状把握をしているところで、今後どうするかという議論まで至っていない。

**【今井委員】** 参考 1 について。市内の 20 校の太陽光発電装置の設置について 6 校しか具体化しなかったとのことだが、どのような問題があったのか。残った 14 校はどのようにするのか、具体的な案はあるのか。

**【事務局（平井）】** 校数が減ったことについては、既存の設備で対応できないと書かせて頂いたが、売電にあたって変圧器からの距離等から既存の設備で耐えられる容量が算出され、必要な容量がないところについては、新規で設備を設置する必要があり、その費用として数百万かかるところを事業者で負担することができないという状況になった。屋上防水の問題や、本市の小中学校にはフェンスがあり設置面積が多く取れなかった等の問題もあった。

**【今井委員】** 変圧器の問題については 50kW とせず、数十 kW であれば設置できた。東電との費用負担の協議の方法もある。市からある程度援助すればできることもある。50kW に執着する必要はなかったのではないか。そこに執着することで地元業者や NPO が入れない事業になっていると思う。

**【奥田委員】** 資料 3 について。報告書案の中にこれまでの再生可能エネルギーの取り組みについて紹介があり、長池公園の資料では課題のところでは安定的な維持管理について書かれているが、市で設置したものに関して、導入時のコストやメンテナンス等の課題は整理されているのではないか。そのような内容についても資料として出して頂くと、民間企業や市民が再生可能エネルギーに取り組むときの参考になる。

**【事務局（佐藤）】** わかっている部分については調べて資料にできると思う。当初から設置されているものについてはわからないかもしれない。

**【中島委員】** 長池公園のパッシブソーラーについて、10 年前くらいから学生を連れて見学に行って、学生に説明する授業をやっていた。再生可能エネルギーが導入されている施設で、市民に対してのレクチャーなどの状況と課題についても整理していただけると良いのではないか。市民啓発は重要なので。

**【本藤座長】** 再生可能エネルギーについては設置に目が向きがちだ

が、設置後の利用や管理の状況も重要なので、来年度に向けて、すでに設置されているものに対して調査して頂き、報告頂けると良いのではないか。

【中島委員】 参考2について。補助金支援の中に国交省関係が入っていないが、エコまち法が施行されている。まちづくりに関わるものについては、面的利用やコンパクトシティについてエコまち法で今後予算が用意されるようなので、調べて頂くと良いのでは。

◆議事

(1) 複合プロジェクトのイメージについて

(2) 検討報告書について

(事務局より資料1、参考6に従い説明)

【本藤座長】 委員の皆さんから提案内容のご説明と、報告書に関するご意見があればいただきたい。

【栗田委員】 参考6-1について。もともと再生可能エネルギーの検討は温暖化対策地域推進計画によるもの。この計画は震災前にできたもので、温暖化防止が目的となっている。バイオマスの場合、山林の管理をすることで吸収源にもなり得る。CO<sub>2</sub>を減らすというのは非常に大変。行政では努力されていると思うが、排出量と景気というのは比例しているので、今後厳しい状況になる。

【奥田委員】 報告書の目的に関する部分について。今回、再生可能エネルギーの導入促進のために話し合っているが、全体のエネルギーを減らしつつ自給率を高めるのが重要なので、その部分について目的の書き方が弱いと思った。

【富永委員】 報告書の目的については同意見。まず削減、その次に再生可能エネルギーの導入というのが前提。提案内容は、公園についての内容。上柚木公園の7割は雑木林なので、活用方法を考えたい。

【奥田委員】 基本的な考え方として、再生可能エネルギーの普及に関して市民参加を是非前提条件として強調して頂きたい。20年後30年後を考えると、市民の参加というのは重要。

【三浦委員】 森林整備は技術的に担える人材が少ないという話があったが、とても大事な分野だと思うので、ボランティアということではなく、市として技術者を養成していくということをやっていかないといけないと考えている。

【遠藤委員】 1年ほど前からペレット工場の誘致を進めてきたので、具体的な提案を書かせて頂いた。今回の報告書では希望的観測だけでなく、具体的なものを提案すべきと思っている。

【安藤委員】 前回、民間企業で太陽熱導入の動きがあるという話をしたので、それを紹介する内容。八王子市でも導入が進められている。複合プロジェクトについては、スマートコミュニティのような全体的

なイメージがないとわかりにくいのかなと。既存のインフラとミックスして使うということが必要。報告書の中身については、46 ページのマンションの事例があるが、以前の検討会で東京ガスの社宅の事例が紹介されていた。報告書に具体的な事例として入れて頂くと複合型のイメージがつくのではないかと。時間を頂ければ資料提供したい。

**【本藤座長】** 非常に多様なご意見を頂いたが、この報告書にどうインプットしていくか、イメージしながらさらにご意見を頂きたい。

**【今井委員】** 以前、市民発電プロジェクトの提案をさせて頂いたが、その内容が入っていない。市民参加をどう進めていくか。各地域で進められているが、最初の 1 基はできるが 2 基目以降に手詰まりになっている。公共との連携がなくてはならないと思う。以前色々な事例を拝見させて頂いたが、八王子市ならではの市民参加を盛り込んで頂きたい。大きな器をつくらなくても、10kW であっても参加した人の満足度が高いものにならない。

**【事務局（佐藤）】** 今回は複合プロジェクトについて資料説明をしたもの。今井委員から頂いた内容はすでに報告書に盛り込んでいる。

**【事務局（増原）】** 今井委員からのご意見については報告書の 33 ～34 ページに記載している。市と市民がそれぞれお金を出し合って地域に還元していくということがポイントだと思ったので、それを反映した内容とさせて頂いた。

**【白井副座長】** ニュータウンモデルと市街地近郊モデルはあるが、中心市街地モデルがないのはなぜか。それから、10 年後くらいを想定しているなど、想定時期もあれば教えていただきたい。

**【事務局（平井）】** 今回の案は、委員の皆様の意見をまとめたもの。中心市街地について、ご提案がなかったため記載していない。表記の仕方については、この場でご意見頂き、反映したい。

**【白井副座長】** 色々なものを組み合わせることで複合というイメージという説明だったが、業務ビルや商業ビルが抜けている。農業も温室栽培等があるのでは。

**【奥田委員】** 導入イメージで「スマートシティ」とされてしまうと、抽象的になってしまうように思う。あくまでも提案例だが、長池公園ではこうできる、などの意見も頂いているので、そういう具体的にイメージできる形で報告書に記載することはできないのか。この書き方では全国どこでも変わらないようなものを感じる。

**【遠藤委員】** 第 1 回の検討会で具体的なところまで記載するという話だったが、この報告書ではあまりにも陳腐だと感じる。

**【中島委員】** スケール感と場所のイメージがあった方が良いのでは。長池公園とセットで考えるのであればこのスケール感、など。場所も問題なければ出した方がイメージしやすいのでは。具体例の前段階

として、例えば都市公園、コミュニティの拠点として学校、生活の場で住宅エリアなどを提示し、それらを組み合わせるとこうなる、といった2段構えが良いのでは。それから、都市部の話はこの場ではあまり議論していなかったが、今回の報告書に入れる必要があるのか、次年度以降に検討していくのか、何らかの考え方の記載をした方がよいのでは。

**【本藤座長】** 具体例だけでは全体像が見えにくい、全体像だけでは具体例が見えにくい。2段構えというのが妥当ではないか。全体像がないと分かりがたいこともあるので、全体イメージがあって、その中でこの部分を取り組んでいくということがわかるように、具体例をつけて記載して載くことが必要では。

**【奥田委員】** 藤沢や日野の例は具体的に書かれている。八王子市についても具体的な例が出ているので、そのように書いても良いのではないか。また、藤沢のような話がここで出てくるのもよくわからない。市民が関われるような例ではない。例として挙げるのであれば、八王子市ならこうできる、といったことが必要ではないか。今までの屋根貸しはテストケースとして検証しているので、今後はこのようなことができるのではという提案として具体的に書いて頂きたい。

**【事務局（増原）】** 藤沢の件については、事例で並べてしまうと意図が伝わりにくいかもかもしれないが、すぐこれを参考に、ということではなく、こういったものはパナソニックがあるからできたという事情もあるので、全体像としてはこういう例もあるという意味で見せた。八王子市で同じことはできないと承知のうえで調べてみたもの。

**【遠藤委員】** 導入プロジェクトの検討の4.1～4.5と複合プロジェクトがうまく結びついていないのではないか。そのあとの藤沢の事例もうまく結びついていないように思う。

**【富永委員】** 八王子というのはこういう環境の中にある町だという認識があり、その町には山もあり、中心市街地もあり、ニュータウンもある、という特徴があり、様々な地域の導入モデルをパーツとして検討してきて、そういったものをいいとこ取りすると今後の展開になるのでは。多様なところに多様なエリア別のベストミックスを目指す中で、そういった方向性に進むと良いかなと。いきなり全部を許容するのは難しいので、A～Cの3つを検討した、としてはどうか。Aはニュータウン。イメージはこうできる、具体的にはこうできる、など。Bの中心市街地については安藤委員からの提案を参考事例に商業施設が集まっている場所ではこういう導入の方法があるのでは、といったこと。Cの山の方は木質バイオマスについて。3つくらいをイメージしながら、10年後20年後を目指して、全部を含めて八王子市スマートシティ構想のような形でまとめてみては。できる限り具体性を

入れると、市民にしてみたらわかりやすいのかなと思う。

**【今井委員】** 全体的な案としては良いと思う。去年から始まった屋根貸しはうまくいかなかったので、その部分をどうまとめあげていくのか、というのは緊急のことだと思う。そこに的を絞って意見交換すべき。大きな構想はそれで良いが、今現にやらなければならないことはそこである。

**【白井副座長】** 全体の構成について。市民参加の方針に大賛成。地元参加を重視して、八王子らしい仕組みを入れていくなど、方針としてきちんと入れていただく必要があるのかなと。今後のこととして、庁内検討会で引き取って方針を作るということが気になる。庁内検討会で議論して、市民参加も用意しているということを示してもらった必要があるのでは。

**【本藤座長】** まず、今年度の報告書に書くことと、来年度以降のことは分けておきたい。学校への太陽光発電の設置は次回以降（次年度）議論させて頂きたい。副座長から庁内検討会で決まってしまう雰囲気があるとのことだったが、決めるのは庁内検討会でもなく、この検討会でもない。どちらも一意見であり、決めるのは議会。市民がどう意思決定に入っていくのかということも次回以降の議論としたい。今年度の報告書は、これまで検討してきた導入モデルのリストを提示するというのが妥当かなと思う。その上で、皆さんのご意見に基づき私から3点提案したい。今のままでは具体的なイメージが少なすぎるので、それは書いていただきたい。それから藤沢市のケースは合っていないということだが、掲載するのは問題ないと思う。ただし、参考事例ということが明確にわかるようにした方が良い。今井委員からもあったが、設備設置というハード先行のイメージがとても強く、その設備をどう利用するか管理するかというソフト面に関する記述が少ないようである。今回ソフト的な部分を書き込めないのであれば、課題に入れておくべき。

**【富永委員】** 複合プロジェクトなどを進めるにしても、オール八王子の資源を活かしきっていくということを今後の課題として入れる必要があると思う。八王子市の民間企業にも、大学にも入っていただきたいが、うまく連携ができていない。大学には学生の力もあり、大学の屋根もある。まだ想いと具体性がバラバラの状態。モデル構想のコミュニティがあって、関わってほしいプレイヤーにすべて関わってもらい、時間がかかっても議論をして、ベストミックスを自分たちが選択したということを導くことが課題かなと。そうすれば地域産業育成にもなり、分散型エネルギーでリスクヘッジにもなるので、市民が求めるようなスマートコミュニティを導き出すというのが課題では。

**【白井副座長】** 効果の書き方が気になっているが、これを狙いと

て仕組みをつくるということだと思う。「効果」というより「波及のしゅみ」などの言葉に替えた方が良いのでは。

**【事務局（平井）】** 導入プロジェクトの表については、皆さんのご意見を頂いて項目を作った経緯がある。「効果」を「波及のしゅみ」に代えるということでこの場で皆さんのご意見があれば、反映させたい。頂いた意見については一通り網羅しているという認識だったので、まとめ方の問題かなと思う。

**【委員】** 「波及のしゅみ」で異議なし。

**【遠藤委員】** この報告書がまとまって、具体化していくのかどうかをお聞きしたい。

**【事務局（渡辺）】** 中身すべてを実行することはお約束できないが、市民参加の仕組みや地元企業と連携していくこと、市民を巻き込んで事業を興すなどについては考えていきたいし、できるものから実行していきたい。

**【本藤座長】** 複数の委員から最初に指摘のあった報告書の目的について戻りたい。再生可能エネルギー導入は手段であって目的ではなく、温暖化防止などの目的のもとに、省エネとあわせて再生可能エネルギーを活用するということが明記されるべき。検討頂きたい。また、栗田委員の資料で八王子市では色々な計画があるとのことだが、それらとの整合性についても書き込んで頂くと良いのでは。

(3) その他

●次年度の要望等

**【奥田委員】** 今回もっと具体的なものが出てくると思っていたが、この段階で具体的なものになっていない。例えば、遠藤委員からバイオマスについて具体的な提案があった。需要を創るということでは予算的などところでバックアップが必要と思うが、来年度も予算に間に合わないということにならないように、タイムスケジュールというか、実現させるものについては予算化のスケジュールも踏まえて検討を進めてほしい。

**【事務局（佐藤）】** 予算化に向けてというのは非常に重要なところと思う。ここにあった意見を関係所管にフィードバックして、関係所管で進められるかを検討していく。予算は9～10月が要求の時期になるので、間に合うように進めていきたいと思う。

**【事務局（渡辺）】** 方針を決めたうえで、市が中心になるもの、市民参加で行うものなど整理したうえで、各課で割り振っていく手順となる。

**【本藤座長】** いま説明のあった進め方について、資料にして頂けるとわかりやすい。

	<p><b>【奥田委員】</b> 会議の日程について、何月くらいというものを出して頂きたい。</p> <p><b>【富永委員】</b> 25年度は5月と8月に1回ずつということで、3回目も予備的にあるのかもしれないが、2回で報告書をまとめるのは難しいのではないかと。屋根貸し事業の課題検討についても時間がかかると思う。せめて7月にも実施して3回程度は必要では。</p> <p><b>【事務局（平井）】</b> 具体的なものを書くには時間が短いと思う。先ほどの件について、行政の立場として具体的な場所を書くのは難しい。関連所管とは庁内検討会で情報交換している段階で、具体的な議論ができていないわけではない。次年度については、皆さんにご協力頂けるのであれば必要回数やっていきたい。</p> <p><b>【遠藤委員】</b> 市で予算がないのであれば、国からの補助がある。例えば、バイオマス産業化支援事業という補助事業があるが、そういう国の予算に八王子市として応募されれば良いのでは。</p> <p><b>【事務局（平井）】</b> その補助事業はバイオマス産業都市として市が宣言していく事業だと思うが、この場でそういった議論はされていないので、そのような具体的な話を報告書の中で出すことはできない。</p> <p>●今後のスケジュール</p> <p><b>【事務局（平井）】</b> 年度として一度区切りを持ちたいと思うので、この報告書でまとめさせて頂きたい。頂いたご指摘は書き方で調整できると思うので、こちらで案を作成し、メールでお送りさせて頂き、ご確認頂きたい。来週いっぱいでご確認いただけるようなスケジュールでお送りしたいと思う。委員の皆さんにご意見を頂き、座長と相談のうえで反映させる内容を決めさせて頂きたい。来年度の実施回数については座長と調整し、ご案内させて頂きたい。屋根貸し事業の進捗状況もあるので、最初の検討会は5月頃を予定している。</p> <p>●部長あいさつ</p> <p><b>【事務局（渡辺）】</b> 5か月間にわたり、中身の濃い議論をして頂き、感謝申し上げます。報告書という形でまとめさせて頂くが、今後本市の方針を確定していく中で、この報告書を生かしていきたい。25年度も検討会が開かれるため、引き続きご参加頂くよう、お願いしたい。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
会議録署名人	平成 25 年 4 月 18 日 署名 本藤 祐樹